

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道464号 <small>きたちばどうろ</small> 北千葉道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局 千葉県	
起終点	自：千葉県印西市若萩 至：千葉県成田市押畑	延長	9.8km 直轄：5.6km 県：4.2km			
事業概要						
国道464号は、千葉縣市川市から成田市までの延長約43kmの主要幹線道路である。北千葉道路は、県西地域と成田空港間との道路ネットワーク・アクセス強化、緊急輸送路のネットワーク強化や安全性の向上を目的に計画された、延長9.8kmのバイパス事業である。						
H17年度事業化	H17年度都市計画決定	H17年度用地着手	H17年度工事着手			
全体事業費	約889億円 直轄：449億円 県：440億円	事業進捗率	84%	供用済延長	1.8km	
計画交通量	26,300～34,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1  (残事業) 9.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 115/ 987億円 事業費：109/ 981億円 維持管理費：6.3/ 6.3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,055/ 1,071億円 走行時間短縮便益：831/ 841億円 走行費用減少便益：185/ 186億円 交通事故減少便益：39/ 45億円	基準年 平成28年		
感度分析の結果						
【事業全体】交通量：B/C=0.98～1.2（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.1～1.1（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=0.9～1.3（事業期間±20%）						
【残事業】交通量：B/C= 8.3～10.1（交通量 ±10%） 事業費：B/C= 8.4～10.1（事業費 ±10%） 事業期間：B/C= 8.0～10.4（事業期間±20%）						
事業の効果等						
①道路ネットワークの強化・アクセス向上 ・北千葉道路の整備により、東葛地域などの国道16号周辺地域では成田空港までの所要時間が約27分短縮する（柏市の場合は88分から61分に短縮）。 ・北千葉道路の整備により、東西方向の道路ネットワークの強化やアクセス向上が図られる。						
②緊急輸送道路ネットワークの強化 ・「千葉県地域防災計画」において指定されている緊急輸送道路の一次路線で千葉県北西部の東西を結ぶ路線は国道464号及び並行する国道356号、国道296号とも2車線しかなく、いずれも緊急輸送路として脆弱。 ・東日本大震災後の見直しにおいて、「多重防御の視点」に重点を置くことが示された。北千葉道路の整備により東西方向の連絡、災害物資の輸送、緊急車両の通行等のための災害に強いネットワークが構築される。						
③国道464号（北千葉道路と並行する区間）の交通事故状況 ・北千葉道路に並行する国道464号（鎌苅北交差点～寺台交差点間）等の死傷事故率は、最も高い日赤成田病院前交差点～不動橋交差点間で435.6件/億台・km。 ・事故類型は、国道51号において沿道の店舗や住宅からの出入り交通と通過交通の錯綜が生じ速度変化が大きいため、追突による事故が多く全体の約5割を占める。 ・北千葉道路の整備により、現道区間の交通が北千葉道路に転換され、交通事故の減少が見込まれる。						
関係する地方公共団体等の意見						
千葉県知事の意見						
一般国道464号北千葉道路（印西市～成田市）は、成田国際空港への所要時間の短縮による国際競争力の強化や災害時における道路のネットワーク強化などに寄与するとともに、成田市内の交通渋滞を緩和し、交通の円滑化を図る重要な道路である。 また、国施行区間と県施行区間は一体的に整備を進めていることから、引き続きコスト縮減に努めながら、事業の早期完成を図りたい。 なお、県施行区間である印西市若萩から成田市北須賀までの4.2キロメートルについては、平成28年度に暫定2車線供用する予定である。						
事業評価監視委員会の意見						
事業の継続を承認する。						

